NIE実践報告

１．タイトル：3年生の進路活動に新聞を生かす

２．学校名

北海道富川高等学校

３．実践者名（代表者名）

徳富 圭

４．学年

３学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

現代文　生徒数（商業科２２名　普通科１８名）

６．単元（本時の学習課題）名

新聞をいかした意見文づくり

７．目標(狙い)

身の回りのことや広い社会に目を向け、新聞記事の中から気になる話題を選ぶ。記事の要約・選んだ理由・それに対する自分の意見を、進路活動に使えるよう、多くの人に理解しやすい文章構成・表現で記述する。

８．評価の視点

・事実と意見などを慎重に読み取り、的確に要約ができたか。
・意見と理由、体験や詳しい説明をはっきり区別し、意見文の文章構成で書けたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

意見文の作成　評論『日本の四季』を読み、「書き手の考えやその展開の仕方について自分の意見を書く」を踏まえ、新聞記事を題材に意見文を作成する。 5時間

10. 単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教材文『日本の四季』の学習を踏まえ、本文に対する意見文を作成する。

②新聞を読み、自分の進路関係の記事を見つけたり、類似の記事を比較したりする。（1時間）

③別紙ワークシートにより、新聞記事をまとめ、自分の意見文の作成をする。（3時間）

④生徒作成のワークシートからいくつか選び、生徒分印刷して批評する。（1時間）

（留意点）
・意見文作成の際には、段落構成に気を付け、意見と事実をはっきり区別して記述するように注意する。
・適切な文章表現となるよう、辞書を利用しながら作成する。

11. 児童・生徒の反応、感想・意見

進路活動間近に実施したため、生徒は意欲的に取り組んでいた。面接練習での「最近気になるニュースは？」の質問に答えられなかったためか、熱心に新聞を読んでいた。多くの生徒たちは、自分に関係のある記事を見つけ出し、自分の考えを深めることができた。

12. 成果と課題

HR一斉授業での取り組みだったが、自分に関係のある記事だけではなく、様々な記事に興味をもって読んでいた。進路活動の一環としての新聞利用だったが、もっと早めに3年生には取り組ませても良かった。しかし、今年一年を振り返ると、新聞活用がうまくいったとはいえなかった。新聞を使う上での基礎学力、とりは基礎知識に大きな差があり、HR単位ではなかなか一斉に同じことに取り組むことに困難な場面が多かった。